



川端康成生誕100年記念
川端文学のふるさとからおくる

えもり・とおる

やべ・たつや

江守 徹・矢部達哉 言の葉コンサート

～朗読とヴァイオリン演奏による川端康成の世界～



■快優・江守徹が川端康成の小説を
心をこめて読みあげる――

「伊豆の踊子」(一部省略)

《掌の小説》から

「木の上」「心中」「月下美人」

■若き天才ヴァイオリニスト・矢部達哉が
川端康成の世界を想って演奏する――

バッハ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ
第1番～第3番から

■江守徹が川端文学のあれこれを語る――

*

■入場料

一般：1階席=3,500円 2階席=2,500円

65歳以上、24歳以下：1階席=2,500円 2階席=1,500円

障害者及びその介護者 ※この取扱いは文化振興財団のみです。

※就学前のお子様の入場はご遠慮ください

■チケットの取り扱い [9月13日発売]

(財)茨木市文化振興財団 ☎0726-25-3055

川端康成文学館 ☎0726-25-5978

ローソンチケット ☎06-6369-6633 [Lコード：56526]

チケットぴあ ☎06-6363-9999

■お問い合わせ・電話予約

0726-25-3055 (財)茨木市文化振興財団
月～金 9:00～17:15 (土・日・祝日は休業)
〒567-0888 茨木市駅前四丁目6番16号 クリエイトセンター1F

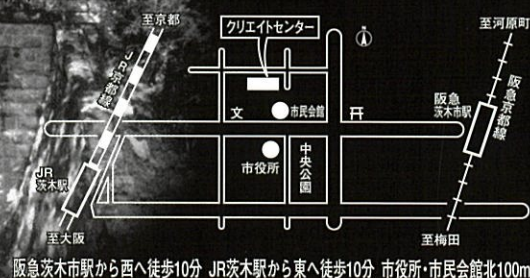
道がつづら折りになって、いよいよ天城峠に近づいたと思う頃、
雨脚が杉の密林を白く染めながら、すさまじい早さで麓から私を追って来た。

『伊豆の踊子』の出だし

’99
11/26

【金】19:00開演
(18:30開場)

茨木市クリエイトセンター・センターホール



川端康成生誕100年記念
川端文学のふるさとからおくる

えもり とおる やべ たつや ことのは
江守 徹・矢部達哉 言の葉コンサート

1999年11月26日(金) 19:00 茨木市クリエイトセンター・センターホール



江守 徹 EMORI Toru

1962年劇団文学座研究所に2期生として入所。現在、文学座をはじめ新劇の中心俳優として舞台上で大活躍するとともに、テレビ・映画・ラジオにも多く出演している。

「さればござる…」の決まり文句が有名になった1996年のNHK大河ドラマ「吉宗」での近松門左衛門役、98年の「徳川慶喜」では島津久光役、また漢詩紀行朗読、「クイズ赤恥青恥」などのバラエティにも出演し、お茶の間にも広く知られている大スターである。

さらに、舞台上で俳優をつとめるとともに、外国の舞台劇の翻訳や演出の分野でも優れた才能を発揮している。

演出や翻訳の能力をあわせもつ平成の快優〈江守徹〉が、川端康成の小説を朗読でどのように表現していくのか…たいへん待ちどおしいものである。

- 翻訳 「アマデウス」劇書房刊
- 賞 1973年 第8回紀伊國屋演劇賞個人賞
(舞台「オセロー」イヤーゴ役に対して)
- 1989年 日本アカデミー賞優秀助演男優賞受賞
(映画「社葬」の演技に対して)
- 1994年 第2回読売演劇大賞優秀演出家賞
(「ウエストサイドワルツ」「恋ぶみ屋一葉」の演出に対して)

*



矢部達哉◎ヴァイオリン YABE Tatsuya

洗練された美しい音色と深い音楽性によって、現在最も人気のある若手ヴァイオリニストである。

1968年東京生まれ。江藤俊哉に師事。桐朋学園ディプロマコース終了後、90年22歳の若さで東京都交響楽団(都響)のソロコンサートマスターに抜擢される。89年からサイトウ・キネン・オーケストラに参加し、小澤征爾の指揮のもとでオペラや交響曲のコンサートマスターを務めている。

ソリストとしての活躍も目覚ましく、数々の国内外のオーケストラ、室内オーケストラのソリストとして絶賛を博している。

室内楽にも意欲的に取りくんでいる。

96年5月ソニークラシカルよりデビューCD「ソット・ヴォーチェ」を発売し注目を集めた後、97年にはNHK連続テレビ小説「あぐり」のタイトル曲でヴァイオリン・ソロを演奏し、「美しい音色で清々しい朝が始まる」とクラシックに馴染みのない視聴者にも大きな反響を呼んだ。

95年第5回出光音楽賞、平成8年度村松賞、96年第1回ホテルオークラ音楽賞を受賞。